ジグジッド大使離任にあたって

会長　中山　喜重

親愛なるジグジッド大使の離任にあたって、心からお礼の言葉を申し上げます。

お聞きしますと、大使は信州大学に留学していたことから口癖のように“信州は私の第二のふるさと”と仰っておられたことは忘れられません。

1999年10月、当会10周年イベントの折には、当時は参事官の要職にある大使に、会場のゲル建設のため棟梁をお願いしたり、イベントの運営をお手伝い頂いたり、思い起こせば、様々な勝手なお願いを致しました。

特に、大使在任中の7年間は、突然の大使館訪問や、厄介な電話にも快く対応いただき、ご面倒をおかけいたしました。

また、当会の表彰、歴代の会長に勲章授与についてのご苦労、モンゴル国と交流に貢献した小学校に馬頭琴贈呈を頂く等々のご尽力は、枚挙に遑がございません。厚くお礼申し上げ、深く感謝申し上げます。

母国に帰られ、国の中枢でのご活躍を期待致しますとともに、ますますのご健勝をお祈り致します。

有難うございました。

モンゴルレポート

久しぶりのモンゴル

先般、日本ゲートボール協会主催の“モンゴルにもゲートボールを普及しよう”という活動に参加しました。

8月24日午後成田空港から、信州新町に研修生として来日した人たちや、16年前、モンゴルの大草原で糸紡ぎ、編み物、草木染ができないかと50日間滞在した折にお世話になった人々が大勢待ち受けるチンギスハーン空港へ一っ飛び。主にメール交換以外に会えなかった皆さんと再会。大感激。

かつてのボヤントオハー空港の面影はなく、ウランバートル市内には高層ビルが建ち並び、市民の憩いの場ナイラムダル公園の大観覧車の周りに住宅がひしめき、さながら戦後の東京と同じような激変振りに目を見張るばかり。まさに“浦島太郎”のようでした。

当時、ウランバートル郊外のバラックにいた彼が社長さんになっているかと思えば、相変わらず“貧乏暮らしです”と日雇い生活を続けている娘もいると聞き悲しくなりました。

いずれにしても、若い頃から憧れたモンゴル。厳しい環境の中で逞しく生きる、心豊かなモンゴルの人々との交流は、これからもずっと続けたいと思っています。

会員
信州新町
栗林昌枝

モンゴル初のテーマパーク「チンギス・ハーン像」と「13世紀村」

13世紀に一代でモンゴル遊牧民の諸部族を統一し、史上最大のモンゴル帝国を建国したチンギス・ハーン。

草原にそびえたつ高さ40mの銀色に輝くチンギス・ハーンの騎馬像（像の頭部分に展望台がある）を見学後、モンゴル帝国当時の生活様式を忠実に再現した「13世紀村」へ。

番兵宿営地、職人村、教育村、シャーマン村（ハーンが崇拝した33神の聖霊を祀る）、牧民村などを体験・見学後、王侯貴族の宮廷ゲルでの往時のものを再現した昼食。

完成時にはテーマの異なる13村になる予定とか。

ウランバートルから東へ約96kmという至近距離の中央県エルデネ村にあるので、足を運ぶ一見の価値がある。

事務局　上野　靖夫

モンゴル関連ニュース

こもろ地球人まつりへ参加

5月29日（日）小諸市立東小学校で恒例となった「こもろ地球人まつり」のモンゴルブースへ出展。モンゴルの民族衣装、馬頭琴、民芸品等を展示。当日は東小学校児童の手伝いがあって、家族連れの訪問客で、終日大賑わいだった。

お知らせ

■明年以降のモンゴル訪問について

モンゴル国は、今や砂漠化が最大の社会問題となっています。今後のモンゴル訪問は、“モンゴルに信州の森を造ろう”をキャッチフレーズにモンゴルの大地に植林をするという活動を中心にいたします。

今年は諸般の情勢から、モンゴル訪問を休止いたしましたが、来年は5月下旬か6月初旬にモンゴル訪問団を派遣します。

各団（1～20期）OB会を画策するなど多数のご参加をお願いします。

■定期総会について

第22回定期総会を例年どおり11月中旬に開催すべく諸般の準備を進めております。

チャリティーコンサート開催の協力

信州大学工学部3年にモンゴルから留学中のE．テルグーン君の“熱い思い”から大震災で被災した「日本人学生に奨学金を贈ろう」という趣旨で「チンギスハーンの黒馬」チャリティーコンサート（馬頭琴とモンゴル民謡）が9月23日（金）長野市ホクト文化ホールで開催されます。

チケットがあります。

携帯　090-1828-5056（西澤）まで連絡ください。

事務所
〒380-0838
長野市県町532―3　労働会館内
TEL・FAX
026-235-6717
http://w2.avis.ne.jp/~mongo/
連絡は携帯090-1828-5056（西澤　寛）へお願いします